

# 千曲會報

昭和十六年八月二十日 第八號 千曲會法團社

## 遠藤保太郎先生退官記念品贈呈資金募集

謹啓

時下初夏之候愈々御清適之段奉賀上候

陳者、這般、遠藤保太郎先生が突然御家庭の御都合上御退官の上、急遽御歸郷被遊候ことは已に會報紙上に於て御承知の事奉存候

遠藤先生の本邦蠶絲業界に寄與せられたる偉大なる業績、曳いて母校に對する赫赫たる御勳功は、今更暇々を要せざる所奉存候

實に母校御在職二十有五年の長きに亘り、校に在りては一意専心子弟の教養に、校務の執筆に日も亦足らず、出でては著作に、研究發表に、又業界指導に専念され、斯業界に貢獻せられたる事は内外共に景仰する所にして

常に吾々會員一同感謝措く能はざる所に御座候

今回御家庭の御都合は申しながら、御歸郷の止むなきに至り候ことは當に母校のため遺憾たるのみならず、本邦斯業の爲にも非常なる損失存じ

極力、御留任を懇請致候も遂に容るゝ所ならず、此所に御別致すことに相成候、洵に惜別の情に不堪次第に御座候

就ては、此の際先生の御功績を讃え、且多年の勞に酬いん爲め、資金を募集し、記念品を贈呈致し度候間左記御諒承相成御贊同の上御贈金被成下度此段御依頼勞々得貴意候

記

敬具

一、贈出金額 御隨意

一、申込期限 本年十一月末日

一、送金先 母校内千曲會

(振替長野六貳四參番) 遠藤先生記念品贈呈資金  
ご明記のこと

一、受領證 千曲會報紙上

一、記念品 發起人に御一任願度

昭和十六年八月 日

發起人代表

蒲生俊興

## 目次

- △遠藤保太郎先生退官記念品贈呈資金募集……………(一)
- △本會記事……………(二)
- △敘任辭令……………(三)
- △計報……………(四)
- △會員動靜……………(五)

## 謹告

己に公用に赴きたる會員多數有之候處大部分當方に届けざる爲、當該勤務先との連絡上支障有之候に付御存じの方は御知らせ被下度、尙今後公用に接したる者は御忘れなく當係にも御一報被下度候

八月

## 會員名簿係

昭和十六年八月十七日印刷  
昭和十六年八月二十日發行 (非賣品)

編輯 上田蠶絲専門學校内  
發行人 小松忠一郎  
印刷人 上田市原町五七九五 二 郎  
印刷所 上田市原町五七九五 印刷所  
印刷所 中澤 印刷所

發行所 上田蠶絲専門學校内  
社団法人 千曲會

電話 上田四〇六番、六六一番  
推替口直一(長野) 六四三番

本會記事

本會日誌

七月九日 加美好男氏急逝せらるる電報にて弔意を表す
七月十二日 故加美好男氏の社葬執行せらるる理事長會葬す
七月十四日 縣會議員金子金平氏逝去に付電報にて弔意を表す
七月十七日 長野地方の地震に對し北信支會長及鷄鳴會へ見舞狀發信せり
八月一日 蠶絲業の動向に付研究会開催す

統後會資金寄附

製絲科學生高橋公一君より本會統後資金中へ金五圓也寄附せらる。本紙上を以て受領證に替へ御禮申述べる次第なり。

針塚長太郎先生謝恩記念資金受領報告

(第廿七回八月五日現在)

金五圓也 河淵 益美
累計金壹萬〇五百五拾五圓也

統後資金應募者

- (頭書ニ1、トアルハ第一回離出者)
1、金貳圓也 笠原 正巳 佐藤 一
2、金貳圓也 好士 泰造
2、金壹圓也 永井 勝末 小松忠一郎
右合計金八圓也
累計金壹千五百五拾五圓也

遠藤先生退官記念品贈呈資金受領報告

- 金拾圓也 古東 乾太 鍵谷 傳
金五圓也 山口 亮平 塩見 豊一
石原 石司 大澤 資市
清水 衛敏

會費領收

(八月六日現在)

- 昭和三十五年會費金四圓也
本間 國夫(蠶七) 類富 正廣(蠶三)
細川 三郎(蠶二) 笠原 正巳(蠶五)
野田 太郎(蠶八) 清水 健一(蠶三)
昭和三十六年度會費金四圓也
木山 勝雄(蠶一) 今井 又藏(蠶一)
奥田 達雄(蠶一) 寺島 親雄(蠶三)
小林 啓介(蠶四) 福富 繁(蠶七)
金崎 眞英(蠶九) 中島 茂(蠶二)
内田訓之亮(蠶三) 古越 光明(蠶二)
永井 勝末(蠶四) 山崎 壽(蠶四)
兒玉 信榮(蠶五) 西本 朝平(蠶五)
石附 文吾(蠶五) 淺野 清志(蠶五)
小林 重男(蠶五) 飯塚 秀雄(蠶六)
金澤 勇(蠶七) 坂口 正信(蠶七)
本間 國夫(蠶七) 塚田 庸男(蠶九)
細川 俊雄(蠶八) 石尾 幾朗(蠶三)
宮入 耕平(蠶九) 齋藤 章(蠶三)
齋藤 章(蠶三) 石原滿洲夫(蠶三)
中島 正喜(蠶三) 金澤 洛禎(蠶三)
坂口 育三(蠶三) 吉池權五郎(蠶三)
鈴木 中(蠶三) 多田 忠正(蠶三)
兒玉 新一(蠶三) 瀧澤 昌一(蠶三)
田中架波平(蠶三) 井上 貞二(蠶三)
清水比呂夫(蠶三) 半田 孝康(蠶三)
小林 茂樹(蠶一) 丸山 忠良(蠶一)
大箸 政平(蠶二)

- 友金 誠三(蠶五)
手塚 雄一(蠶六)
堀田 健介(蠶二)
牧野 弘(蠶二)
緒方 卓三(蠶三)
松井 長純(蠶三)
野尻 正次(蠶三)
野尻 白二(蠶四)
野尻 啓一(蠶四)
野尻 赴夫(蠶五)
野尻 慎一郎(蠶五)
神津治郎兵衛(蠶二)
太田 良信(蠶七)
高馬 文雄(蠶七)
湯淺 文雄(蠶七)
成尾 喜八郎(蠶八)
小關 悅郎(蠶九)
大木 定雄(蠶九)
西山 省(蠶九)
竹内 正可(蠶三)
富下文四郎(蠶三)
大井 正夫(蠶三)
北澤 常雄(蠶三)
高橋 英(蠶三)
新村 五郎(蠶三)
山村 洋介(蠶三)
山口 精一(蠶三)
河合式太郎(蠶三)
和田 幸一(蠶三)
秋山 實(蠶三)
土生 瑠三(蠶三)
黒瀬 信勝(蠶三)
飯田 國藏(蠶三)
小林 剛(蠶三)
菅野 正文(蠶三)
菅野 久男(蠶三)
濱訪 久男(蠶三)
坂本 政雄(蠶七)
坂本 健一(蠶七)
安井 求(蠶九)
植田 勇(蠶九)
植田 實(蠶九)
林 正信(蠶九)
田口 正信(蠶九)
横田 健三(蠶三)

- 伊藤 清(蠶五)
恒川 芳保(蠶三)
山本奈良三郎(蠶二)
福島錫治郎(蠶二)
梅澤治三郎(蠶二)
神戶 敏夫(蠶三)
島山茂忠太(蠶三)
關 嘉四郎(蠶四)
山口 健男(蠶五)
笠原 正巳(蠶五)
星野 拓弘(蠶五)
村上龜久(蠶七)
隅倉 美義(蠶七)
荒木 康男(蠶七)
西澤 重郎(蠶七)
小澤 正一(蠶七)
秋山武一郎(蠶九)
黒岩次郎(蠶九)
山崎 保太(蠶九)
六川 忠行(蠶九)
志賀 豊(蠶三)
荻原 行雄(蠶三)
岩本 正平(蠶三)
白井 賢次(蠶三)
今村 覺治(蠶三)
久保保左武郎(蠶三)
桑木 正義(蠶三)
清水 健一(蠶三)
市村 正(蠶三)
安部 重(蠶三)
中島 藤治(蠶三)
宮尾三右衛門(蠶三)
大山 鎮洪(蠶三)
牧野 徳太郎(蠶三)
茅野 和雄(蠶三)
佐藤 稔(蠶三)
橋本辰五郎(蠶三)
北村 育徳(蠶三)
寺井 子藏(蠶三)
藤松 信八(蠶三)
岡田 信男(蠶三)
高岡 米治(蠶三)
白川 孝治(蠶三)
藤井 聰夫(蠶三)

- 終身會費完納者
中島 文雄(蠶九)
三好 彌市(蠶八)
佐藤 一(蠶二)
未納會費納入者
金貳拾四圓也
(昭和九、十、十一、十二、十三、十四年度分)
岩本 市郎(蠶一)
金八圓也 (昭和十三、十四年度分)
細川 三郎(蠶二)
金四圓也 (昭和十四年度分)
山本 金之助(蠶三)
金八圓也 (昭和十三、十四年度分)
清水 健一(蠶三)
會費領收取消
七月號に報告せる會費領收欄中左記は誤謬に付取消す。
昭和十六年度會費金四圓 本間直人(蠶一)
昭和十八年度分會費金四圓 本間直人(蠶一)

叙任辭令

- 現職員之部
上田蠶絲專門學校教授 柳澤 延房
九級俸下賜
上田蠶絲專門學校助手 宮下 丈夫
給七級俸
上田蠶絲專門學校書記 宮原大正治
給九級俸(以上六月三十日)
陸軍技術師從七位 稻垣 英吉
任上田蠶絲專門學校教授、敎高等官六等九級俸下賜(七月十八日) 町田 博
任上田蠶絲專門學校助敎授 給六級俸(七月三十一日)
卒業生之部
生絲検査所技師 大池 登
陸高等官六等、八級俸下賜
朝鮮産業技師 北澤 茂
高等官三等待遇 蠶絲試驗場技師 松村 季美
四級俸下賜

十級俸下賜(以上六月三十日)	地方農林技師	岩根 謙
三級俸下賜(七月三日)	農林技師	上野 榮仁
彼從六位(六月十六日)	同	正七位 万石安太郎 新庄哲二郎
八級俸下賜(六月三十日)	地方農林技師	上林多兵衛
彼從六位(六月十六日)	勳八等	藤崎 鑽
七級俸下賜	地方農林技師	岡部 康之
十一級俸下賜(以上六月三十日)	地方農林技師	山崎 壽
彼勳六等瑞寶章(七月八日)	從五位	久保田正樹
隨從高等官五等	蠶絲試驗場技師	森山 二郎
日本中央蠶絲會並全日本絹織物工業組合聯合會主催第九回實用新製品競技展覽會審査官ヲ命ス(以上七月十二日)	農林技師	田口 敏夫
十一級俸下賜(六月三十日)	地方農林技師	都丸 晴治
彼正六位	同	從六位 永田 平 藤又 藤夫
彼從六位	同	正七位 福谷朝太郎 安川 寛
彼正七位(以上七月一日)	同	從七位 小平 光雄 北島 正生
八級俸下賜	公立實業學校校長	佐藤 俊三
七給俸當分千五百圓下賜(以上六月三十日)	公立實業學校教諭	川村吉太郎
地方農林技師ニ任ス高等官七等特選	三重縣農林技師	中曾根長男
三重縣農林技師ニ補ス(七月二十四日)	木工技師	田口 敏夫
繊維技術改善委員會幹事ヲ命ス(七月二十五日)	朝鮮公立實業學校校長	小笠原安重
五給俸下賜		

八級俸下賜 地方農林技師 金兒 文夫

八級俸下賜 朝鮮公立實業學校校長 伊藤 喜代

五級俸下賜 朝鮮産業技師 北澤 茂

八級俸下賜(以上六月三十日) 同 尾見 前八

### 本校辭令

願ニ依リ副手ヲ免ス(六月四日) 副手 齋藤 重利

桑樹栽培實地指導ヲ囑託ス(六月廿三日) 水野 義男

御用濟ニ付囑託ヲ解ク(七月十八日) 高野 安次

願ニ依リ副手ヲ免ス(七月廿四日) 副手 井上 正人

願ニ依リ副手ヲ免ス(八月四日) 副手 唐澤 正

### 御挨拶

謹啓 炎暑之候各位益々御清榮之段 奉賀上候

陳者小生儀今回不圖本校教授を拜命致候に就ては微力乍ら職責に全力を盡す覺悟に御座候間御懇篤なる御指導御支援の程御願申上候

先は御挨拶迄如斯御座候 敬具

昭和十六年七月

織維化學科 稻垣 英吉

### 訃報

加美好男氏逝去

新興人絹株式會社事務取締役技師長として人絹界に勇飛された加美好男氏(絲三)は膾炙に罹り醫學の粹を盡して治療に努められた

が其効を得ず七月九日逝去された。謹んで弔意を表する次第である。

西川正夫氏逝去

廣海軍工廠在職中本年始め病氣となり歸郷加療に努められて西川正夫氏(蠶二六)は其甲斐も空しく七月二十三日逝去された。謹んで弔意を表する次第である。

### 弔慰金募集

故足立光男氏 蠶廿七

故前田好男氏 蠶廿八

故加美氏 蠶廿九

故西川正夫氏 蠶三十

右五氏に對し弔慰金を募集致します。故加美氏、故西川氏は十月末日迄に取經め御遺族へ贈呈致します。夫れに間に合ふ様振替口座東京四三三三番へ各故人に對する弔慰金の旨御記入の上御郵達下さい。

昭和十六年八月

千曲會

### 弔慰金報告

(八月五日在)

故吉川誠彦氏弔慰金 小森 啓介

右合計金貳圓也

故佐谷戸健次郎氏弔慰金 岩本 市郎

金五圓也 細川 三郎

金貳圓也 原田 種龜

右合計金拾圓也

故相倉豊吉氏弔慰金 藤又 藤夫

金參圓也 勝又 喜代

金貳圓也 伊藤 末吉

右合計金拾壹圓也

故中島俊秋氏弔慰金 塚田 典次

金五圓也 多田 忠正

金貳圓也 水田 巖

阿形 一三

右合計金貳拾貳圓也 中西 良一 佐藤 祐三

市原 政治 堀口 友治

故渡邊豐雄氏弔慰金 清水 良一

金五圓也 多田 忠正

金貳圓也 兒玉 新一

右合計金拾貳圓也 清水 良一

故足立光男氏弔慰金 小泉 恭平 森本 彰

金貳圓也 今井 省吾 海野 輝男

金壹圓也 河野 英記

右合計金拾壹圓也

故野口兎氏弔慰金 河野 英記

金壹圓也

右合計金壹圓也

故前田節男氏弔慰金 永田 平 小宮山 太助

累計金四圓也

故加美好男氏弔慰金 久保田 一徳

金拾圓也 濱井 壽夫

右合計金拾壹圓也

累計金拾壹圓也

### 死亡會員遺族よりの禮狀

昭和十六年七月十五日 新興人絹株式會社

故加美好男氏 神戸市灘區山田町一ノ二〇 加美 邦男

昭和十六年七月十七日 鳥取縣岩美郡宇倍野村宇神垣

故前田節男氏 遺 族

有志弔慰金に對する 遺族よりの禮狀

昭和十六年七月十五日 島根縣鏡川郡出雲町一六一一

故北本 重郎氏 妻 北本 朝子

會 員 動 靜

(八月五日)

稻垣 英吉 (現職) 本校纖維化學科教授(住)上田市中新田町  
 赤尾 英三 (舊職) (住)東京市板橋區板橋町九ノ一、五九四  
 湯川 秀夫 (職) 國立農事試験場安東支場長(住)安東市大和橋通三九  
 林 漢龍 (職) 滿洲拓植公社調査役(新京)(住)新東北安路市管住宅四七  
 小見 益男 (職) (勤)從前通り(住)岐阜市本郷町六丁目  
 久保田 正樹 (職) 蠶種共同施設組合上田社技師長(上田市目之出町)  
 安孫子 文彌 (職) 滿洲棉蠶株式會社奉天支店(奉天市揚武街一段興亞會館電話二五  
 野崎 清 (職) 日本蠶絲統制株式會社企畫課長(住)從前通り  
 宇多田 泰熊 (職) 長野縣蠶種業組合技師(長野市南縣町産業會館)  
 宇野 勲 (職) 滿洲棉蠶株式會社、産繭課長(新京市北安路六二二)  
 安中 衛敏 (職) (勤)從前通り(住)滿洲國錦州省北票街滿炭冠山社宅  
 清水 繁治 (職) (勤)岐阜縣蠶業試驗場(岐阜市外那加町)(住)岐阜市外那加町榮町  
 宮川 繁治 (職) 片倉富岡製絲所(群馬縣北甘樂郡富岡町)  
 寺島 雅彦 (職) 公用  
 水野 廣 (職) 公用  
 竹内 善吾 (職) 公用  
 平野 秀男 (職) 株式會社臺灣銀行東京支店(東京市麴町區丸ノ内一ノ二)  
 石附 文吾 (職) 岩手縣蠶絲課、技手(盛岡市)  
 山本 誠 (職) 公用  
 針塚 民一 (職) 新潟縣立府尾實業學校教諭(新潟縣府尾町)  
 田村 亮 (職) 公用  
 宮崎 俊雄 (職) 横濱市平沼町山添青年學校(住)同市中區渡町二ノ七九  
 酒井 嘉美 (職) (公用)片倉組南製絲所(和歌山縣日高郡湯川村)  
 瀧口 哲一 (職) 滿洲棉蠶株式會社安東支店(安東市大和區江岸通五十一)  
 百瀬 榮一 (職) 滿洲棉蠶株式會社本店(新京特別市北安路六二二)  
 河田 眞吾 (職) 國立農事試験場安東支場辦事所(安東市大和區大和通り三九號)  
 池内 眞吾 (職) (住)安東市大和區大和通り三九號  
 細川 豊 (職) 武蔵理化學研究所第四部勤務、繅紡高砂人絹工場(兵庫縣加古郡高砂町)  
 仁尾 幾明 (職) 江原道春川邑蠶業取締所  
 坂口 芳文 (職) 公用  
 石塚 亮 (職) 北支〇〇部  
 秋山 俊雄 (職) 滿洲棉蠶株式會社(奉天市大和區加茂町第二號三井ビル内)  
 西田 正 (職) 農林省農政局農業保險課農林技手(住)東京市中野區新山通三ノ八  
 入佐 一郎 (職) (勤)從前通り(住)東京市大森區馬込町東四ノ四二五  
 荒木 喬 (職) 株式會社幸袋工作所(福岡縣嘉穂郡幸袋町)(住)福岡縣飯塚市大字  
 白土 孫七郎 (職) 駿田三八  
 鈴木 茂 (職) 召集解除(勤)片倉蠶業試驗場(松本市)  
 藤井 宗雄 (職) 北支〇〇部隊  
 吉池 權五郎 (職) 公用  
 川中 貞次 (職) 公用  
 母袋 忠右衛門 (職) 昭榮製絲株式會社(東京市日本橋區吳服橋東京建物ビル)  
 西澤 政人 (職) (職)二三

昭和十六年八月十七日印刷  
昭和十六年八月二十日發行

八 號【非賣品】

小野 一忠 (職) 召集解除、長野蠶業試驗場技手  
 山内 傳次 (職) 公用  
 清水 時久 (職) 日本勸業銀行長野支店(長野市縣町)(住)長野縣植村郡五加村大字中  
 宮城 順一 (職) 長野縣小縣郡田公民學校教諭(中塩田村)(住)從前通り  
 塚田 典次 (職) 滿洲棉花株式會社研究室(奉天市大和區揚武街一段)  
 阿形 武三 (職) 召集解除、母校蠶業科副手  
 青山 武 (職) 公用  
 目崎 武美 (職) 中支〇〇部隊  
 小泉 恭平 (職) 滿洲七二八部隊津除(滿洲國開島省琿春)  
 濱村 長久 (職) 滿洲國安東省公署殖産科  
 加子 三郎 (職) 日本大學政治經濟學科(住)東京市葛飾區本田立石六一六上原方  
 城口 俊明 (職) 滿洲牡丹江省牡丹江第六九〇部隊大家隊若林班  
 大西 三郎 (職) 滿洲市幸町熱帶醫學研究所北七號  
 富部 正巴 (職) 公用(留守宅)群馬縣多野郡鬼石町大字鬼石  
 池田 逸郎 (職) 長野縣蠶業取締所福島支所(西筑摩郡本會福島町)(住)本會福島町  
 三輪 忠輔 (職) 六軒町、鈴木徳次郎方  
 中澤 忠 (職) 山製絲場(長野縣上高井郡須坂町電話五〇四)(住)長野縣植村郡  
 丸山 忠良 (職) 全羅南道道是製絲株式會社常務取締役  
 上野 榮仁 (職) 日本蠶絲統制會社産繭課長  
 水谷 郷一 (職) (住)長野縣南安曇郡温村二二八  
 森田 武治 (職) 日本蠶絲統制會社橫濱支店長  
 依田 三郎 (職) 日本斷熱工業株式會社常務取締役(兵庫縣武庫郡本庄村深江一阪  
 柳澤 忠次 (職) 神電車治線深江、電話戸屋二七七八)(住)從前通り  
 梅邊 兼光 (職) 公用  
 本橋 三郎 (職) 公用  
 則信 忠夫 (職) 片倉大宮試驗工場(埼玉縣大宮市)(住)同上社宅  
 杉原 重雄 (職) 三井洋行(廣東)  
 茂原 忠正 (職) 公用  
 竹内 忠行 (職) 片倉製本製絲所(熊本市田町)  
 六川 忠司 (職) 片倉鳴島製絲所(德島縣鳴島町三二三)  
 金丸 功 (職) 北鮮酸素工業株式會社(朝鮮清津府東水南町四九二ノ二)  
 上兼 之有 (職) 奉天省公署實業廳商工科(奉天市城内)  
 稻垣 文一郎 (職) 愛知縣立西尾蠶絲學校(幡豆郡西尾町)(住)西尾町上町  
 古田 久力 (職) 公用  
 中錦 久郎 (職) 三重縣久居町中三三八部隊坂上隊見習士官  
 飯田 正人 (職) 勤ナシ(住)福岡縣久留米市兩替町七番地  
 井上 信藏 (職) 留守宅(住)千葉縣匝廻郡八日市場町田町イノ二五四九  
 宮川 政重 (職) (住)上田市常入  
 花岡 政庫 (職) 片倉裁製試驗所(八王子市川口村)  
 岩本 正一郎 (職) 公用  
 松村 志滿 (職) 公用  
 近江絹絲中津川工場(岐阜縣惠那郡中津町)  
 日立製作所日立研究所(茨城縣日立市)(住)日立市助川會瀨女子寮

發行所 上田蠶絲專門學校

曲 會

（電話）東京四三三三（一）  
（電話）長野六二四三（一）